

# 【（株）東京臨海ホールディングス】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

## 活用戦略で定めた「団体の将来像」

### 臨海副都心のまちづくりと東京港の運営を支える臨海地域のエリアマネジメントグループ

#### 重要課題 ①

「東京の未来を体現するエリア」として更なる飛躍を志向するベイエリア一帯の価値増進への貢献に向け、都による施策の推進や地域の発展を支援するため、臨海地域のエリアマネジメント機能をいかに拡充していくか

#### 検討の状況や今後の方向性

- まちの運営主体・都や進出企業等関係者との調整窓口としての役割を担うことを目指し、地域価値の向上を目的として、下記の領域に取り組む
  - ・地域の基盤インフラの管理と発展(埠頭、交通、熱供給 等)
  - ・にぎわいの創出(都施設の有効活用、集客事業 等)
  - ・公益的事業で地域を主導(防災、環境対策 等)
  - ・進出企業等のニーズを踏まえた企画提案
  - ・地域のワンストップ窓口機能(個人や企業を対象とした情報提供・調整 等)
- 都有地処分の進捗に応じた臨海地域のまちづくり・賑わいの維持等のため必要不可欠な進出企業等と連携したエリアマネジメント機能の拡充について、検討を進めていく

## 【（株）東京臨海ホールディングス】の課題と今後の方向性

<p>重要課題 ②</p>	<p>東京2020大会や東京国際クルーズターミナル開業を契機に増加が見込まれるインバウンドを中心とした来訪者対応の強化を通じて、臨海地域の将来の開発・発展につなげていく</p>
<p>検討の状況や今後の方向性</p>	<p>○ 賑わい創出や回遊性・来訪者の利便性向上に資する取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・来訪者の利便性向上（キャッシュレス決済体験イベント実施）</li><li>・大会後を見据えた地域環境の整備（暑さ対策、アクセシビリティ）</li><li>・大会における祝祭空間の創出（アート、イルミネーション）</li><li>・地域内の周遊性向上</li></ul> <p style="text-align: center;"></p> <p>○ レガシーとして、東京2020大会後の地域価値向上につなげていく</p>